

した。そこで検討会の皆さんでアイデアを出し合い、萬城の滝・キャンプ場とその周辺の整備を計画しました。検討会では溪流沿いの遊歩道整備のほかキャンプ場下の芝生広場、滝での飛沫浴を楽しめる場所づくり、滝下の屏風岩や山葵田といった景勝地を見てもらえるように整備するなど、様々な計画が立てられました。立てられた計画は月一度のボランティアの作業により、実現に向け進められています。参加した皆さんはしいたけ組合、地元の建設業、造園業、商店、議員など業種は様々。それぞれの業種の皆さんがそれぞれ得意な分野で作業を進め、自然の素材を生かした遊歩道づくりが進められています。近年、都会での疲れを癒す「グリーン・ツーリズム」への関心が高まっています。また、静岡県を進める「ファルマバレー構想」の中でも『癒し』というのは重要なキーワードとなつています。伊豆市には、美しい自然の景観と人を癒す魅力がたっぷりあります。ボランティアの皆さんは、自分たちの地域にある貴重な資源を生かそうと、自分たちの力で地域づくりを進めています。地方の自立が求められている今、皆さんの活動で伊豆市の新たな魅力が生まれ出されています。



間伐したヒノキを材料に歩道を作ります



溪流沿いの歩道へ向かう階段づくり



草刈機などの機具も皆さんで持ち寄りました



今年も「緑のふるさと協力隊」がやって来た！

中伊豆支所 事業課 緑のふるさと協力隊 おおき たひろたか 大喜多弘隆

伊豆市の皆さん、初めまして！私は、NPO法人地球緑化センターの「緑のふるさと協力隊」として、今年度、伊豆市に派遣された大喜多弘隆です。この4月から中伊豆支所事業課に机を置かせていただき、市民の皆様のお手伝いをさせていただいています。

今のところ、中伊豆地区を中心に森林ボランティアや地域の行事に参加させてもらっています。そして、今年の4月から伊豆市が誕生し、中伊豆地区の皆さんだけでなく、伊豆市民の皆さんに協力隊を知っていただく

と共に、協力隊を活用していただきたいと思っています。地域の行事（お祭り、スポーツ大会、農作業や人手の要る仕事など）、ささいなご用件、何でもお手伝いさせていただきます。中伊豆・修善寺・天城湯ヶ島・土肥地区（伊豆市全域）の隅から隅までお伺いしますので、ご連絡いただければ幸いです。（前年度のお手伝い例：森林の間伐作業、転作大豆農家の手伝い、デイサービスの手伝い、役所事務作業の手伝い、等を行いました。）

さて、ここで少し自己紹介をさせていただきます。私の出身は大阪で、学生時代は広島と北

海道で過ごし、伊豆にやってきました。学生時代の専攻は化学（薬学）で植物の化学的成分や薬効を勉強していました。そのため少々、薬草やきのこに詳しいです。また、北海道でカーリング（氷上のチェスと呼ばれる北方のスポーツ）をやっていた珍人です。今、登山や山仕事（林業）に興味があり、山を中心に活動しています。

一年間、伊豆市で生活し、様々なことを学び、その経験を活かせるよう頑張りたいと思います。街で見かけたら気軽に声をかけてください。よろしくお願ひします。



協働から生まれる 新しい伊豆市のまちづくり

～萬城の滝上流遊歩道整備ボランティア～

【問合せ】中伊豆支所事業課 ☎ 83 - 5482

今、まったくのボランティアで、自分たちの地域をよりよくしようと活動している人たちがいます。

5月22日(土)、6月13日(日)、萬城の滝周辺での遊歩道整備作業が「萬城の滝周辺整備計画画検討会」のメンバーが音頭をとり、ボランティアの皆さんにより行われました。両日とも50人以上の皆さんが参加し、滝上流の

約五百メートル、小滝までの景観を生かした遊歩道づくりに汗を流しました。

萬城の滝の上流はキャンプ場から歩いて行くことができ、美しい自然と溪流を楽しむことができます。しかし、歩道などの周辺整備がされていなかったため、今まで人の目にあれることは少なく、多くの人はそのすばらしさを知りませんで



萬城の滝周辺整備計画検討会
委員長 関谷 和雄さん

昨年十二月に開いた萬城の滝周辺整備計画検討会で、天城山の特色を生かした自然公園づくりなど、6項目を答申しました。しかし、答申して終わりではなく「自分たちのできることは地域・住民が力をあわせて取り組み、実践していこう」というのがこのボランティアです。萬城の滝上流のすばらしい溪流を、地主さんの協力を得て遊歩道を整備し、眠っている資源を生かし、誇れる、魅力ある地域づくりをしていこうと計画しました。

ボランティアなので作業をするにも予算が

ありません。しかし、五月はこの事業に賛同していただけの方々百人が、手弁当で参加してくださいました。作業をしながら渓谷の趣を生かした遊歩道づくりに皆さんの知恵を絞っていただきました。

このような事業は、地域、住民が主体となつて地域を磨いていくので、自然と郷土愛や誇り、またはこの地域にずっと住み続けたいというような、豊かな活力ある地域づくりにつながっていくと思います。

また、八月八日(日)には豊かな自然を生かした手づくりイベント『第十八回 萬城の滝祭り』も開催されます。伊豆市には全国的に誇れる特徴のある資源が数多くあると思います。豊かな自然を生かし

た風景や、歴史や伝統、温泉や食などの文化・特産品や人柄など：それぞれ得意な分野で皆さんに参加をしていただき、誇れるものを複合的に生かしたおもてなしで、市内外の方をもてなし、交流人口を増やし、伊豆市を元気に、また自立していく必要があると思います。特にこれからの時代は、地域と住民、行政がパートナーシップを築いて「協働」し、市民の皆さんが誇れる魅力ある市に、力を合わせて輪を広げていくことが大切ではないかと思えます。

次回の活動は七月四日(日)を予定しています(雨天の場合は七月十一日(日)に変更)。皆さんの参加をお待ちしています。